

たるみ歯科通信

2017年1月号 No.73

2017年になりました。明けましておめでとうございます。院長の樽味です。
医院 HP の私のブログに記載しておりますが、昨年後半は人前で喋る機会が数多くあり、その準備を通じて、自分たちが目指す『ホームデンティスト』像やチーム医療に必要なことが明確になってきました。今年は職種にかかわらず、医院全体で同じ価値観・方向性・臨床観を持てるように工夫していきたいと思っております。

また、昨年5月に投稿した自家歯牙移植に関する論文が受理され、年末に発刊(日本ヘルスケア歯科学会誌)されました。症例報告とともに当院が大切にしているヘルスケア型診療の概念についても書いておりますので、もし読んでみたいと思われる方がいらっしゃれば、受付担当者にお申し出ください。別刷あるいはコピーをお渡しいたします。

さて、今年のテーマは『継続』とします。医院の基盤がほぼ出来上がってきたように思いますが、若手を含めたスタッフ全員のレベルアップを図り、う蝕(虫歯)と歯周病(歯槽膿漏)に対する質の高い予防と治療をこれからも継続していけるよう、コツコツと頑張っています。
それでは今年もよろしくお願い申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。歯科衛生士の田渕です。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は、今年は自転車に頼らずにたくさん歩いて、たくさん運動して、元気に1年過ごしたいなあと考えています。

さて、2017年通信第1号は、当院が取り組んでいる「ヘルスケア診療」についてお話しします。



当院では、ご存知の通り「できるだけ歯を保存する診療」を行なっています。なぜなら「歯を削ったり抜いたりの治療」を続けていくうちに、どんどん歯がなくなっていくという悪循環に陥ってしまうからです。

私たちは患者さんが歯で困らずに、一生自分の歯で快適に食事するためには、少しでもご自身の歯を残していくことが一番大切だと考えています。

そのために私たちは、定期健診を通して患者さんと長く関わりながら、その人に合ったセルフケアをしっかりと続けてもらえるようにサポートしていきます。



来院される皆さんに「定期健診を受診してよかった！」と思ってもらうためには、歯科衛生士の知識や技術の向上が必要不可欠です。

なので私たちは「ヘルスケア学会認定歯科衛生士育成コース」という検定コースを受講して、専門的な勉強や技術だけでなく、コミュニケーションの方法などを基礎からしっかり学んでいます。

現在7名の歯科衛生士がこの検定に合格し、さらに若手衛生士も挑戦中です。



私たちはこれからもホームデンティストとして、地域の皆さんから信頼され、安心して来院してもらえるように、頑張っていきますので、よろしくお願いいたします！！

お知らせ

☆ 矯正診療日は19日(木曜)の午後です。